

金山町町制施行101周年記念企画

かねやま未来図

町制施行100周年を迎え新たな一步を踏み出した金山町。「金山の未来」をテーマに各地区からご寄稿いただきました。この節目の年に金山町の未来の姿を想像し、共に希望に満ちた地域社会を築いていきませんか？



▲8月14日に行われる「お山掛け」

稲沢の文化を継承し地域づくり

稲沢地区 区長 たん まさゆき 丹 正之さん

稲沢地区においても、戸数の減少や高齢化が進んでおり、今後、共同作業や地区行事などの運営に支障が生じてくることが予想されます。また、予算策定においても、全体的な縮小傾向は避けられないものと思われます。そのような状況の中、組織や事業の集約・見直しを進めつつ、地区の皆さんのご協力をいただきながら、各団体への助成および地区事業の実施内容の充実を図り、地区として団体活動や事業を守り、継承していくことに注力しています。あわせて、先人の方々が長年にわたり受け継いでこられた、地区の有形・無形の文化や事業を守り、維持していくことの大切さを改めて認識しています。延宝8年建立の不動尊をはじめ、10か所に及ぶ神社、地藏堂、忠魂碑、約600年以上の歴史を刻み伝承を続けている稲沢番楽、竜馬山信仰に伝わる十二の神々が座する参道を参拝する「お山掛け」などの継承に、地域づくりの施策の一つとして努めてまいります。

【地区】 63世帯/198名 ※令和7年12月末時点

地区の伝統とこれから

魚清水地区 区長 いまむら ゆきお 今村 幸夫さん

当地区の公民館は他の公民館にない特徴があります。それは糖塚会館(昔の集会場)という建物を公民館にしたという珍しい経緯があります。そこまでの道のりは大変難しく複雑で、何年もの月日がかかり、苦勞した思いがあります。6月にはその公民館で三社祭(糖塚稲荷、切り通し権現、山の神)という行事が受け継がれています。昔のような格式はなくなり、簡素化してしまいましたが、それも伝統ある一つの大切な行事となっています。また、魚清水は水田に大事な水路の一番上流に位置する地区になっています。未来を見据えると、草刈り、清掃など当地区だけの努力では少子高齢化で限界もありますが、出来る範囲で行っている状況です。様々な事業に取り組む面では少ない方だと思いますが、地域の活性化に向けたアイデアを出し合い皆で協力する姿勢を大事に、これからも事故や災害のない地域にしていければと思っています。

【地区】 17世帯/48名 ※令和7年12月末時点






▲魚清水公民館

編集 後記

2月1日は「如月」とも呼ばれ、寒さで衣を重ね着する「衣更着」が語源の一つと言われています。2月4日に「立春」を迎え、暦の上では春ですが、とはいえ実際の体感是一年の中でも特に寒さが厳しい季節です。寒い冬を乗り越える豆知識として、湯たんぽやカイロはお腹の他に腰(仙骨まわり)を温めると全身が温まりやすいそうです。さらに、首・手首・足首の「3つの首」を守ると体感がぐっと暖かくなります。冷えて血流が悪くなると、免疫の働きが十分に発揮されにくくなることがあります。あたたかい飲み物や入浴、適度な湿度で体調を整え、元気にこの冬を乗り切りましょう。

金山町の人口は、4,565人 (12月末現在)

	男性	2,260人 (1)	▼12月の異動 出生 1人 死亡 5人 転入 10人 転出 8人
	女性	2,305人 (-3)	
	世帯数	1,675世帯	